

【受験体験記】～進路講話での出会い～

○長野県立大学（グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科）

私には声優になるという夢がありました。大好きなアニメに貢献したいとの思いから目指そうと思ったのです。そのため、高校入学時にはまさか自分が四年制大学へ進学することになるとは思ってもいませんでした。

一年生の頃から進路講話や、進路について考える機会を沢山いただきました。一年生の頃は専門学校への進学を考えていたので、声優や演技を学べる学校を調べていました。しかし、段々と果たして自分の夢は本当に声優なのかと、疑問を抱くようになりました。私が本当にやりたいことは日本の文化であるアニメに貢献することであって、それが声優である必要はないのではないか、もっと自分にしかできないことや自分だからこそできることはないのかと、悩んでいました。そんな中、進路講話で経営学についての話を聞く機会がありました。もともと、経営学には興味がなく、それがどういったものなのか全く知らない状態で話を聞いていました。その時は、そういった学問があるという認識でしたが、後に進路を決める際にとっても役に立った出来事だったと思います。

「アニメを翻訳し、世界中に提供するサービスがしたい」と将来の夢が定まったところで、次はどこに進学すればいいのだろうという新たな問題が発生しました。先生方の助言もあり、様々な大学のオープンキャンパスには参加していましたが、自分の理想に合う大学はなかなかありませんでした。そうやって悩んでいる間に、生徒会の仕事や班活動が忙しくなり、最終的に長野県立大学の受験を決意したのは三年生の夏休み明けでした。しかしすぐに文化祭の準備が始まってしまい、出願書類を書き始めたのは九月の上旬というかなり遅い時期になってしまいました。

こうして自分の受験を振り返ってみると、全く計画的に物事を進められていなかったことに気づき、反省しています。それでも一年生から勉学に励み、その他の活動を頑張ってきた経験が受験の役に立ったのは確かです。また、受験時の先生方の多大なるサポートには感謝してもしきれません。

受験はとてつらいものです。自分の思うようにいかないときも沢山あります。むしろ、上手くいかないことの方が沢山あります。それでも諦めずに自分の目標に向かって頑張ってください。進学でも就職でも、周りで支えてくれる人は沢山います。悩んでいる時は誰でもいいので相談しましょう。これから受験する皆さん、めげずに頑張ってください。